

#### 1. 導入目的

環境リスクを回避すること。廃棄物処理法の順法と違法のグレーゾーンを明確にし、当社の廃棄物処理法における排出者としての順法性を確保する。

#### 2. 必要性

最も高い環境リスクは、廃棄物処理問題である。不法投棄が発生した場合、排出者として、当社が1億円未満の罰金や原状回復の責務を問われる。当商品は、排出者の責務を完全に漏れなくとりまとめられており、当社の廃棄物処理法における順法性を確保するために必要である。廃棄物処理法の法令は全2,931ページ、参考図書は、全24,219ページあり、難易度も考慮すると、自社で精査し、順法性を確保することはほぼ不可能と思われる。

#### 3. 社会的背景

乳製品メーカーによる食中毒事件、自動車メーカーによるリコール隠しなど、企業の不祥事が社会問題化しており、CSR（社会的責任）の強化、コンプライアンス重視の傾向が強まっている。

#### 4. 導入効果

廃棄物処理法が条文ベースで把握でき、廃棄物の適正処理を徹底することにより、順法性をほぼ確保することができる。万が一、不法投棄が発生した場合でも、排出者の責務を問われることがなく、環境リスクを最大限に回避できる。

#### 5. 他の用途

管理職、内部監査員、廃棄物処理従事者等の教育の他、内部監査における順法性監査、産廃業者の監査等にも利用できる。

#### 6. 価格

50万円で順法性が確保できるとすれば、非常に安価である。同様のものを製作委託した場合、800万円～1,000万円程度。社内リソースを活用し、自社で製作した場合、専任で1年～1年半はかかるとと思われる。

#### 7. 品質

開発したのは、設立3年目のベンチャー企業であるが、品質管理も徹底しており、2期目で黒字化している。審査機関や上場企業に採用されており、信頼性は高いと思われる。

#### 8. 類似商品

各方面で調査の結果、類似商品はない。